

# 馬事公苑界わい サイン整備計画

平成 29 年度 世田谷区 都市デザイン課

- 目次 -

**第1章 はじめに**

|                       |       |
|-----------------------|-------|
| 1-1. 計画策定の背景と目的 ..... | 1 - 2 |
| 1-2. 現状把握と課題整理.....   | 1 - 3 |
| 1-3. 計画の対象範囲.....     | 1 - 6 |

**第2章 計画策定のプロセス**

|                          |        |
|--------------------------|--------|
| 2-1. 計画策定のプロセス.....      | 2 - 2  |
| 2-2. 「うままちあるき」 .....     | 2 - 3  |
| 2-3. 「うままちワークショップ」 ..... | 2 - 22 |
| 2-4. アンケート調査.....        | 2 - 31 |
| 2-5. 来年度検討への反映.....      | 2 - 36 |

**第3章 サイン整備計画の基本方針**

|                       |       |
|-----------------------|-------|
| 3-1. サイン整備の基本方針 ..... | 3 - 2 |
|-----------------------|-------|

**第4章 配置計画**

|                           |       |
|---------------------------|-------|
| 4-1. 各駅からのルートとサイン配置 ..... | 4 - 2 |
|---------------------------|-------|

**第5章 各種デザイン方針**

|                 |       |
|-----------------|-------|
| 5-1. 路面サイン..... | 5 - 2 |
| 5-2. 案内サイン..... | 5 - 2 |
| 5-3. 誘導サイン..... | 5 - 3 |

## 第1章 はじめに

## 1-1. 計画策定の背景と目的

世田谷区では、来たる東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした“「馬事公苑界わい」まちの魅力向上構想”を策定し、まちづくりを行っている。

まちの魅力向上構想の取り組みの一つとして、最寄り5駅（千歳船橋駅、経堂駅、上町駅、桜新町駅、用賀駅）から馬事公苑までのサイン整備があり、駅から会場まで、会場から駅まで、わかりやすく、安全に、そして楽しく歩けるようなサインを整備するもので、地域住民の方とまちあるきやワークショップ、アンケート調査を行いながら、このサイン整備計画案を作成した。

### ①「馬事公苑界わい」まちの魅力向上構想

東京2020 大会を盛り上げ、また開催後には、区に多くのレガシーを創出するため、「2020 年に向けた世田谷区の取り組み～東京2020 大会後を見据えて～」(平成29 年1 月策定)などを踏まえ、「馬事公苑界わい」の魅力向上に向けた取り組みをまとめたものである。

#### 【馬事公苑界わいの将来像】

馬事公苑周辺を「馬の丘エクエストリアンエリア」として、5 駅を中心としたエリアを、「五色のにぎわいパレットエリア」として、位置づけを行った。



#### 「馬の丘エクエストリアンエリア」

##### エリアの将来像

馬を身近に感じながら、  
みどり豊かな環境で、  
心地よく過ごせるまち

ゆとりあるみどり豊かな美しい住宅地であると同時に訪れたいまちにもなっています。馬と身近にふれあえる憩いの場として、馬事公苑が多くの人に知られています。

#### 「五色のにぎわいパレットエリア」

##### エリアの将来像

歴史と文化を大切にし、  
交流とにぎわい、  
活力のあるまち

活気や生活感にあふれる商店街や、地域に根ざしたイベント、昔からある歴史・文化などの地域資源を活用し、界わいに多くの人が訪れるようになっています。

#### 1：人々が協力し連携する安心・安全のまちづくり

訪れる人も住んでいる人もともに安全で安心していただけるまちへ

#### 2：多様な人が集う明るく楽しい雰囲気づくり

訪れる人がコミュニケーションしやすい雰囲気をもったまちへ

#### 3：魅力あふれるオリジナルデザインによるまちの演出

今あるまちならではの魅力で愛着を高め、自然と人々の心をひきつけるまちへ

#### ①人々の関わり

#### ②まちへの愛着

#### ③ユニバーサルデザインのまち

#### ④まちの個性

#### ⑤まちへの記憶

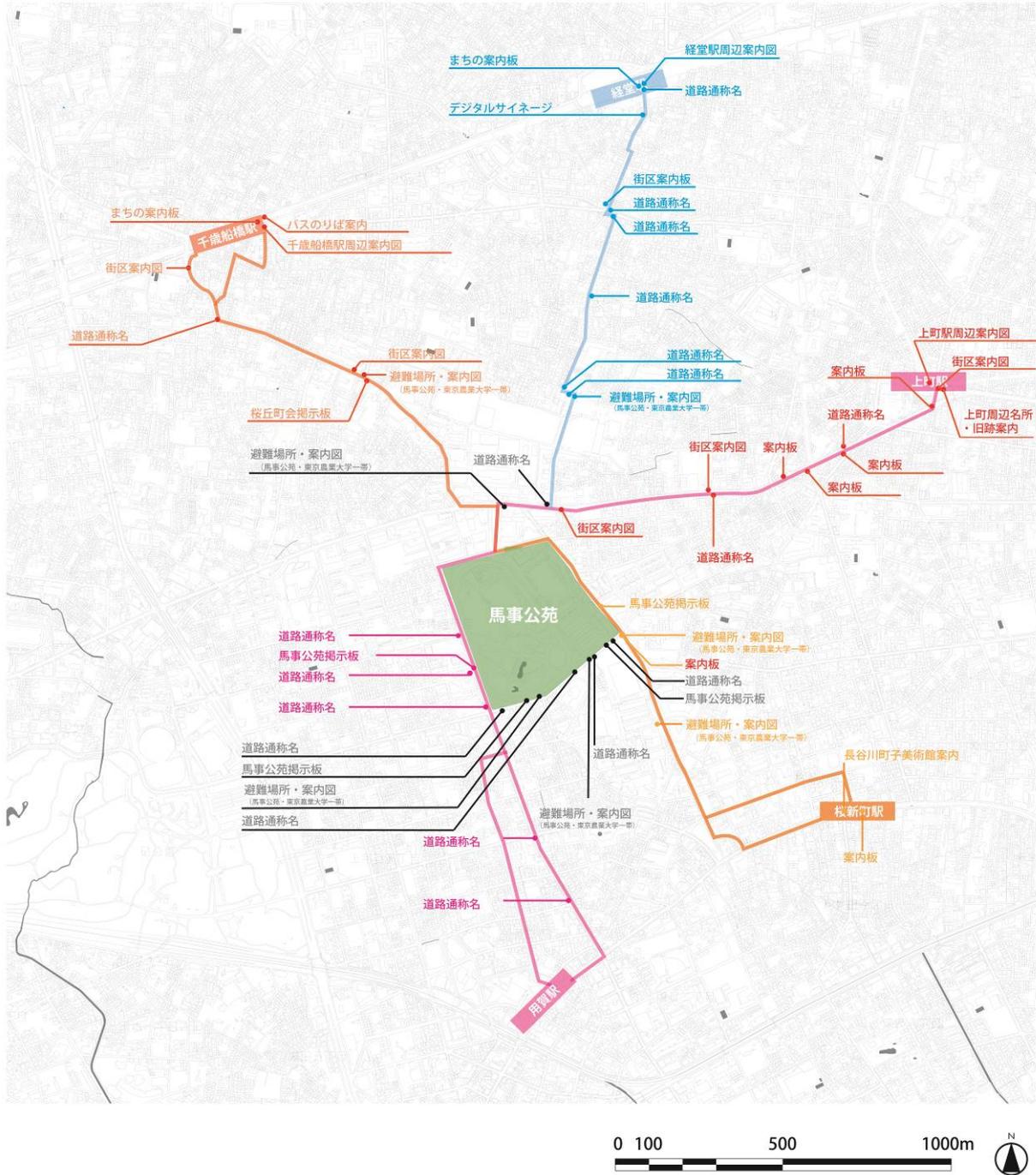
#### ⑥まちの資源

## 1-2. 現状把握と課題整理

本計画策定の前提条件として、現在のサイン類の現状把握と課題整理について整理を行う。

### ①現状把握

最寄り5駅から馬事公苑へのルート沿いのサイン整備状況を以下のようにまとめた。



- 1) 最寄り5駅からのすべてのルートにおいて、街区案内板や避難場所サインに付属する案内図など、既存サインがあるが、馬事公苑に向かうルートに記載が無い。



経堂駅前の案内サインのMAPに馬事公苑の記載が無い



桜新町駅前の案内サインのMAPに馬事公苑の記載が無い

- 2) 特に千歳船橋、経堂、桜新町ルートにおいては、曲がり角が多く、迷いやすい原因となっている。



経堂ルートの曲がり角で迷いやすい



桜新町ルートの曲がり角で迷いやすい

- 3) 桜新町・用賀ルートにおいては、馬事公苑が見えてから入り口までが遠く、案内がないため、どちらの方向へどれくらい向かえば良いのかわかりにくく、不親切な状況になっている。



どこが入口かわからない



サインが無く、どの方向に進めばよいか分からない。

- 4) 馬事公苑の外周の交差点周辺にはサインが無く、入り口までの案内が無いため、入り口までの方向と距離が分からない状態となっている。

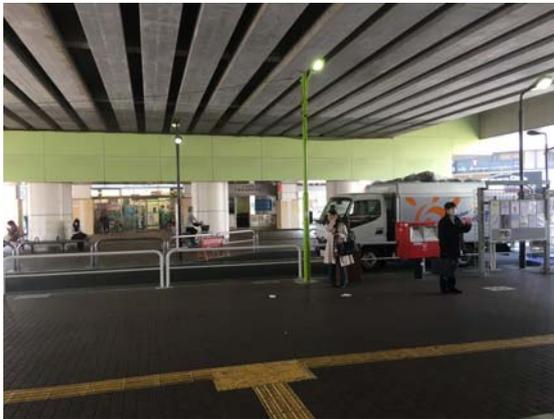


サインが無く、進むべき方向が分からない



サインが無く、どの方向に進めばよいか分からない。

- 5) 駅やバス停など、拠点となる交通結節点に馬事公苑まで誘導を促すような仕掛けがない。



改札前にサインが無く、方向が分からない



主要なバス停にもサインが無く、方向が分からない

## ②課題整理

現状把握を基に、サイン整備における課題を抽出し、整理を行う。

- ・ 既存サインに馬事公苑までのルート誘導が無いため、ルート誘導が必要である。
- ・ 街区案内板や避難場所サインに付随する案内図など、既存サインはそれぞれ目的・機能があり馬事公苑への案内とは分離する必要がある。そのため、馬事公苑へのルート誘導は、既存サインに追加する形ではなく、新たに馬事公苑までのサインを独立で考える必要がある。
- ・ 曲がり角が多く、迷いやすい原因となっているルートにおいては、曲がり角となる交差点において誘導するサインを設置する必要がある。
- ・ 馬事公苑外周延長に対して入り口の数が少ないため、入り口までの方向と距離の案内が必要である。
- ・ 既存サイン以外の、区や町会の広報板はそれぞれのルートに設置されているため、大会PRや当日の案内などに利用できる可能性がある。
- ・ すでに多くの種類のサインが既存に存在しているため、あらたにサイン整備を行う際には、デザインを工夫し、風景に調和するものとする必要がある。

- ・サイン整備においては、考え方や設置場所を含め、馬事公苑側と連携して誘導を考える必要がある。

### 1-3. 計画の対象範囲

本計画の対象範囲は、『最寄りの5駅を基点とした馬事公苑界わい』とする。

